

VIII 研究活動と研究体制の整備

教員個人の研究・社会活動については「XIII 教員の研究教育・社会貢献活動」に示した。

1 財務・研究費

1-1 学外からの研究費補助

1-1-1 科学研究費補助金の申請・採択状況

研究種目	審査区分	H20		H21		H22		H23		H24		H26	
		申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択
特別推進研究 5億円程度 期間3～5年													
特定研究領域 2千万～6億円程度 期間3～6年	計画												
	公募												
基盤研究(S) 5千万円以上1億円程度 期間5年													
基盤研究(A) 2千万円以上5千万 円以下 期間2～4年	一般	1	1	<1> 1	<1> 1	<1> 1	<1> 1	<1> 1	<1> 1	1			
	海外学 術調査												
基盤研究(B) 5百万円以上2千万 円以下 期間2～4年	一般	<2> 6	<2> 2	<2> 6	<2> 3	<1> 3	<1> 1	<3> 7	<3> 3	<2> 3	<2> 3	<2> 3	<2> 2
	海外学 術調査							1					
基盤研究(C) 5百万円以下 期間2～4年 企画調査は1年	一般	<12> 31	<12> 17	<10> 45	<10> 15	<12> 41	<12> 20	<14> 38	<14> 24	<19> 40	<19> 24	<17> 45	<17> 29
	一般 時限	1		1									
	企画 調査												
萌芽研究 5百万円以下 期間1～3年		5		4		11	3	<3> 8	<3> 4	<2> 13	<2> 5	<4> 8	<4> 6
若手研究(A) 5百万円以上2千万円以下 期間2～3年		1											
若手研究(B) 5百万円以上2千万円以下 期間2～3年		<3> 8	<3> 5	<3> 6	<3> 5	<3> 10	<3> 5	<3> 8	<3> 4	<3> 7	<4> 5	<2> 5	<2> 4
研究成果公開促進費						1	1	<1> 2	<1> 1	1			
研究活動スタート支援										<1> 3	<1> 1		
特別研究員奨励費 期間3年以内		1	1	<1> 1	<1> 1	2	2	2	2	<1> 1	<1> 1	<1> 1	<1> 1
奨励研究										4	1		
合 計		<15> 54	<15> 25	<17> 63	<17> 25	<17> 69	<17> 33	<17> 65	<17> 38	<29> 72	<29> 42	<25> 61	<25> 42

※申請欄の数には、転出者を含め転入者を含めない。採択欄の数には、転入者を含め転出者を含めない。

※〈 〉付き数字は前年度から継続を内数で示す。

※数字は、申請時・採択時点での件数である。

※()は研究区分(1)の数字を内数で示す

1-1-2 受託研究費の受入

(1) 受託研究費受入額等について

研究担当者等	直接経費	間接経費	合計額	研究題目
受入なし				
計				

(2) 共同研究経費受入額等について

研究担当者等	金額	研究題目	共同研究相手方
受入なし			
計			

1-1-3 寄附金受入額等について

寄附者	寄附金額	担当教員等	寄附目的等
向野康江	50,000	向野康江	向野堅一研究に関する研究助成
郡司晴元	250,000	郡司晴元	体験型環境教育に関する研究助成
計	300,000		

(附属学校)

寄附者	寄附金額	担当校等	寄附目的等
附属幼稚園教育振興会	1,400,000	附属幼稚園	茨城大学教育学部附属幼稚園における教育の振興に関する援助
附属小学校教育振興会	2,000,000	附属小学校	茨城大学教育学部附属小学校における教育の振興に関する援助
附属中学校教育振興会	15,000,000	附属中学校	茨城大学教育学部附属中学校における教育の振興に関する援助
附属特別支援学校教育振興会	280,000	附属特別支援学校	茨城大学教育学部附属特別支援学校研究助成金
計	18,680,000		

1-2 研究費の配分

教育・研究基盤経費教室等配分表

(千円)

教室等	教育経費	研究経費	配分額計	配分調整額	最終配分額	前年度配分額
国語教育	1,451	1,445	2,896		2,896	3,091
社会科教育	1,125	1,734	2,859		2,859	3,062
数学教育	1,217	1,232	2,449		2,449	2,561
理科教育	971	2,312	3,283		3,283	3,412
音楽教育	787	1,734	2,521		2,521	2,640
美術教育	756.5	1,445	2,201.5		2,201.5	2,389
保健体育	1,205	1,445	2,650		2,650	2,157
技術教育	996	1,240	2,236		2,236	2,232
家政教育	725.5	2,023	2,748.5		2,748.5	2,693
英語教育	548	1,445	1,993		1,993	2,143
障害児教育	1,918	1,445	3,363		3,363	3,519
教育保健	1,611	1,734	3,345		3,345	2,928
学校教育	1,088	2,480	3,568		3,568	3,780
情報文化教室	1,844	2,601	4,445		4,445	4,698
人間環境教育	1,229	3,636	4,865		4,865	5,749
学校臨床心理学	1,187	1,156	2,343		2,343	2,537
教育実践総合センター		578	578		578	654
客員教授		253	253		253	287
配分残額(共通経費へ)		42	42		42	23
合計	18,659	29,980	48,639		48,639	50,555

2 研究交流

2-1 サバティカル

郡司晴元 平成 26 年 4 月 1 日 から 平成 27 年 1 月 31 日

賀来健輔 平成 26 年 4 月 1 日 から 平成 27 年 1 月 31 日

2-2 ポスドクの受け入れ

採用機関 日本学術振興会

川端 美季 平成 25 年 4 月 1 日 から 平成 28 年 3 月 31 日

受入教員 瀧澤 利行

採用機関 日本学術振興会

2-3 組織交流

2-3-1 学会

(1) 事務局が設置されたもの

名 称	役 割	担当者
日本工業技術教育学会	事務局	工藤 雄司
日本教育情報学会 第 31 回年会実行委員会	実行委員長	工藤 雄司
全国地方教育史学会	事務局	事務局長 佐藤 環

(2) 学会開催 (主催・共催したもので本学部教員がかかわったもの)

名 称	年 月 日	主催・共催	会 場	参加者数
日本教育情報学会 第 31 回年会	平成 27 年 8 月 29 日 ～平成 27 年 8 月 30 日	茨城県教育委員会, 12 市町村教育委員会, 茨城県教育研究会, 茨城県校長会, 茨城大学後援	茨城大学教育学部 D 棟 201, B 棟 203, 204, 205, 207, 208, 311, 312 教室	180 名

3 研究成果

3-1 学内刊行物

名 称	発 行	判型	頁数	発行部数	発行年月日
現代教育の実践的課題	茨城大学教育学部学校教育教室	A4 版	118	900 部	平成 26 年 7 月 31 日

2-3-2 講演・シンポジウム

名 称	月 日	主催・共催	会 場	参加者数
日本教育情報学会 第 31 回年会記念講演「巨大津波にいか かに備えるかー茨 城における 3.11 津 波被害と新しい対 策ー」講演者：三 村 信男（茨城大学 学長）	平成 27 年 8 月 29 日	茨城県教育委員 会, 12 市町村教育 委員会, 茨城県教 育研究会, 茨城県 校長会, 茨城大学 後援	茨城大学教育学 部 D棟 201 教室	180 名
日本教育情報学会 第 31 回年会シンポ ジウム「21 世紀に 必要な能力を育て るための教育情報 の役割」	平成 27 年 8 月 29 日	茨城県教育委員 会, 12 市町村教育 委員会, 茨城県教 育研究会, 茨城県 校長会, 茨城大学 後援	茨城大学教育学 部 D棟 201 教室	180 名

2-4 教育委員会との組織交流

2-4-1 教育学部委託生一覧(前期)

番号	氏名	性別	勤務先	職名	研究主題	受入期間	教科等	受入教室等	受入教員	派遣元
1	久保 由紀子	女	茨城町立沼前小学校	教諭	一人一人の読解力を高める指導の在り方 ～読み取ったことを整理する活動を通して～	平成26年4月1日(火) ～ 平成26年6月30日(月)	国語	国語教育	昌子 佳広	茨城県教育委員会
2	小安 良典	男	古河市立古河第一中学校	教諭	思考力・判断力・表現力を育成する社会科指導と評価の在り方 ～東日本大震災と「公共の福祉」を題材としたパフォーミング・マナー課題への取組みを通して～		社会	社会科教育	木村 勝彦	茨城県教育委員会
3	会沢 裕之	男	取手市立取手第二中学校	教諭	社会参画の態度を養う中学校社会科地理的視野の学習指導の在り方 ～日本の諸地域・身近な地域の調査・における単元の再構成を通して～		社会	社会科教育	村山 朝子	茨城県教育委員会
4	林 雅之	男	利根町立布川小学校	教諭	社会的な見方・考え方を育てる地図学習の在り方 ～小学校・中学校におけるGIS地図の活用を通して～		社会	社会科教育	小野寺 淳	茨城県教育委員会
5	手嶋 一敏	男	結城市立結城中学校	教諭	生徒の科学的な思考力を育てる理科学習指導の在り方 ～中学校第1学年「植物の仲間」における導入場面と考察場面での支援を通して～		理科	理科教育	大辻 山本 永勝博	茨城県教育委員会
6	岩淵 倫子	女	桜川市立桜川中学校	教諭	言語で表現する力を高める鑑賞指導の在り方 ～協同的な学習を通して～		音楽	音楽教育	田中 健次	茨城県教育委員会
7	富永 京子	女	常陸太田市立金砂郷小学校	教諭	「造形遊び」における評価の定め方に関する研究 ～第4学年「つないでいく」の授業実践からの考察～		図画工作	美術教育	向野 康江	茨城県教育委員会
8	橋田 亜季	女	北茨城市立中妻小学校	教諭	中学校外国語科への滑らかな接続を目指した小学校外国語活動の展開 ～第6学年におけるプロジェクト型学習の工夫を通して～		外国語活動	英語教育	猪井 新一	茨城県教育委員会
9	家村 倫子	女	水戸市立千波小学校	教諭	相手意識をもち、自信をもってコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する英会話指導の在り方 ～小中の習熟な接続を可能とする文字指導を通して～		外国語活動	英語教育	齋藤 英敏	茨城県教育委員会
10	菅原 美和	女	水戸市立梅が丘小学校	教諭	よりよい生き方を考え生かす力をほぐし、道徳教育の在り方 ～児童一人ひとりが自分を認め、人とかがかりながら気持ちを伝え合う活動を通して～		道徳	学校教育	生越 達	茨城県教育委員会
11	武藤 伸一	男	土浦市立土浦第三中学校	教諭	学級への所属感を深めながら、よりよい人間関係を築く学級経営の在り方		学級経営	学校教育	杉本 憲子	茨城県教育委員会
12	野田 瑞穂	女	日立市立成沢小学校	養護教諭	通常の学校における特別支援教育コーディネーターの役割 ～養護教諭の視点から～		特別支援教育	障害児教育	新井 英靖	茨城県教育委員会
13	眞田 かおり	女	城里町立石塚小学校	教諭	通常の学級における特別な教育的ニーズのある児童への支援の在り方 ～児童同士の関わり合いに視点を当てた学級づくりを通して～		特別支援教育	障害児教育	勝二 博亮	茨城県教育委員会
14	小室 直子	女	水戸市立福荷第一幼稚園	教諭	気になる幼児の理解と指導の在り方 ～一人一人の発達に応じた支援をしていくために～		特別支援教育	障害児教育	新井 英靖	水戸市教育委員会
15	野田 瑞穂	女	日立市立成沢小学校	養護教諭	通常の学校における特別支援教育コーディネーターの役割 ～養護教諭の視点から～		特別支援教育	障害児教育	新井 英靖	茨城県教育委員会
16	眞田 かおり	女	城里町立石塚小学校	教諭	通常の学級における特別な教育的ニーズのある児童への支援の在り方 ～児童同士の関わり合いに視点を当てた学級づくりを通して～		特別支援教育	障害児教育	勝二 博亮	茨城県教育委員会
17	小室 直子	女	水戸市立福荷第一幼稚園	教諭	気になる幼児の理解と指導の在り方 ～一人一人の発達に応じた支援をしていくために～		特別支援教育	障害児教育	新井 英靖	水戸市教育委員会

2-4-2 教育学部委託生一覧（後期）

NO	氏名	性別	勤務先	職名	研究主題	受入期間	教科等	受入教室等	受入教員	派遣元
1	榎本 理香	女	常陸太田市立山田小学校	教諭	自分の考えを明確に伝える力を高めるための国語科学習指導の在り方 ～小学校第9学年「書くこと」の領域における交流活動の工夫を通して～	平成26年10月1日(水) ～ 平成26年12月31日(水)	国語	国語教育	川嶋 秀之	茨城県教育委員会
2	川文 智子	女	東海村立白方小学校	教諭	ICTを活用した「書くこと」の指導の在り方		国語	国語教育	昌子 佳広	茨城県教育委員会
3	茅根 健一	男	日立市立日高中学校	教諭	主体的な読みの力を高める国語科学習指導の在り方 ～第1学年「読むこと」の単元における言語活動のねらいの明確化を通して～		国語	国語教育	鈴木 一史	茨城県教育委員会
4	森高 美緒	女	ひたちなか市立磯崎小学校	教諭	互いの考えを伝え合い、自らの考えを再構築し、集団の考えを発展させる国語科学習指導の在り方		国語	国語教育	鈴木 一史	茨城県教育委員会
5	大藤 一也	男	常陸大宮市立美和中学校	教諭	『意欲的に読む力』を育む国語科学習指導の在り方 ～「読むこと（文学的文章）」における言語活動の工夫を通して～		国語	国語教育	橋浦 洋志	茨城県教育委員会
6	大須 廣行	男	水戸市立第四中学校	教諭	自分ごととして学ぶ主体的な学びの力を育む社会科指導の在り方 ～言語活動を伴うワークショップの手法を取り入れた単元づくりを通して～		社会	社会科教育	村山 朝子	茨城県教育委員会
7	大森 和行	男	大子町立だいでいこ小学校	教諭	思考力・判断力・表現力を高めるための社会科科学習指導の在り方 ～小学校第4学年「県内の特色ある地域と人々の生活」の単元におけるパフォーマンス課題を取り入れた言語活動の充実を通して～		社会	社会科教育	木村 勝彦	茨城県教育委員会
8	石川 聡	男	水戸市立見川中学校	教諭	「とら」に学び高め合う社会科学習のあり方 ～「公民的分野」「国民の生活と政府の役割」の単元を事例に～		社会	社会科教育	小野寺 淳	茨城県教育委員会
9	森越 奈緒子	女	古河市立総和中学校	教諭	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるようにする数学科学習指導の在り方 ～効果的な話し合い活動を要する場と発問の工夫～		算数・数学	数学教育	根本 博	茨城県教育委員会
10	野野 桂子	女	土浦市立山ノ荘小学校	教諭	自分の考えを科学的に表現する力を育む理科科学習指導の在り方 ～科学的な視点の提示と話し合い活動の場の工夫を通して～		理科	理科教育	矢島 裕介	茨城県教育委員会
11	市毛 正行	男	茨城町立長岡小学校	教諭	科学的な思考力を育てる理科指導の在り方 ～粒子領域における系統性を意識した学習を通して～		理科	理科教育	大辻 山本 勝博	茨城県教育委員会
12	矢吹 美佐子	女	ひたちなか市立藤沼第二小学校	教諭	振動の習得と悦みアップを目指した運動の基礎と指導の在り方 ～楽しく活動できる場の設定と教材の工夫を通して～		体育	保健体育	渡邊 将司	茨城県教育委員会
13	廣沢 清徳	男	桜川市立大和中学校	教諭	保健体育科における思考力とは何か ～「21世紀型能力」を踏まえ、中学校第1学年ネット型球技の授業構想～		保健体育	保健体育	吉野 聡	茨城県教育委員会
14	小島 秀一	男	筑西市立下館北中学校	教諭	技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる学習指導の在り方 ～多様な視点から思考し技術を考察する学習活動を通して～		技術・家庭	技術教育	工藤 雄司	茨城県教育委員会
15	高土 雅美	女	日立市立大沼小学校	教諭	思いや意図をもって表現する力を育てる音楽授業の工夫		音楽	音楽教育	田中 健次	茨城県教育委員会
16	中山 裕子	女	土浦市立藤沢小学校	教諭	図画工作科における「くざり体験」の教育的意義とその方法		図画工作	美術教育	金子 一夫	茨城県教育委員会
17	八木 千鶴	女	小美玉市立玉里中学校	教諭	聞き手にメッセージを伝えるためのスピーキング活動の在り方 ～音声による練習過程の工夫を通して～		外国語	英語教育	齋藤 英敏	茨城県教育委員会
18	北川 幸平	男	常陸太田市立世矢中学校	教諭	スピーキング力を高めるための英語科学習指導の在り方 ～スピーキング活動への意識を醸成した「なりきり」活動を通して～		外国語	英語教育	猪井 新一	茨城県教育委員会
19	齋藤 祥子	女	水戸市立鯉淵小学校	教諭	児童一人一人の自己肯定感を高めるための学校経営の在り方 ～小学校第4学年「二分の一」成人式」の活動プログラム作成と実践を通して～		学級経営	学校教育	佐藤 環	茨城県教育委員会

20	松本 久美子	女	取手市立久賀小学校	教諭	望ましい人間関係を築く学級経営の方策 ～安心感や自己肯定感を高める積極意識を育成する体験的な活動の工夫を通して～	学級経営	学校教育	杉本 憲子	茨城県教育委員会
21	坂入 徹	男	筑西市立明野中学校	教諭	コミュニケーション力の育成を目指した生徒指導の在り方 ～アサーション・トレーニングを通して～	生徒指導	学校教育	小川 哲哉	茨城県教育委員会
22	高島 江里子	女	桜川市立岩瀬西中学校	養護教諭	学校不登校への組織的対応に生かす養護教諭としての支援のあり方 ～随動を効果的に進める「組織」と「養護」の相互性に着目して～	生徒指導	学校教育	生越 達	茨城県教育委員会
23	橋 寿昭	男	常陸太田市立太田中学校	教諭	不登校の解消、未然防止に向けた支援の在り方 ～生徒理解を起点とした多様な取組を通して～	生徒指導	学校教育	三輪 壽二	茨城県教育委員会
24	高岡 成郎	男	行方市立麻生東小学校	教諭	望ましい規範意識と、思いやりの心を育てる生徒指導の在り方 ～統合新設校における生徒指導体制づくりを通して～	生徒指導	学校教育	三輪 壽二	茨城県教育委員会
25	小堀 隆弘	男	高萩市立松岡中学校	教諭	一人一人が自己有用感を獲得できる生徒指導プログラムの在り方 ～予防教育的な「ピア・サポート・プログラム」の活用を通して～	生徒指導	学校教育	望月 厚志	茨城県教育委員会
26	木田 正広	男	つくば市立谷田部東中学校	教諭	全職員が情報を共有し、問題行動の未然防止・早期対応を図る生徒指導の在り方 ～多方面からのアプローチによる生徒指導体制の充実に向けて～	生徒指導	学校教育	加藤 崇英	茨城県教育委員会

平成26年10月1日(水)
～
平成28年12月31日(水)

3 研究成果

3-1 学内刊行物

名 称	発 行	判型	頁数	発行部数	発行年月日
日本教育情報学会年会論 文集 31	日本教育情報学 会第 31 回年会 実行委員会	A5 版	327	300 部	平成 27 年 8 月 29 日